

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453
E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.30

平成30年 冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 吉田 剛



新年明けましておめでとうございます。

一昨年の熊本地震に引き続き昨年は九州北部豪雨に見舞われ、甚大な被害が出ました。地球温暖化の影響で自然災害の規模も大きくなって来ているように思われます。世界では主要国を中心としてIoT・AIを利活用することでスマート社会、スマート交通、スマート工場などの実現に向けた取り組みが始まっています。目的はエネルギー効率の高い持続可能な社会を作り出すことにあります。我々も再生可能エネルギー活用を含めた新技術への対応や省エネ提案力を強化して、地域の中で貢献できるような努力を重ねます。

国内経済は拡大を続け、雇用情勢も好転して人手不足を嘆かれる声が多く聞かれるようになりました。ものづくりの現場でも生産需要に対して、製造がネックになっているというお話を企業の方々から良く耳にします。状況的にはピンチではありますが、少人数でも出来るよう現場を改善し生産性を高める好機でもあります。このような場で、我々の改善力を活かしていただく機会を増やして行きたいと思えます。国際経済は中国の台頭や東南アジアの成長が著しく、アジアの時代を実感しています。外国人観光客も2千万人超え、様々な言語が街中で聞かれる時代になってきています。海外から日本に向けられる眼差しは熱いものを感じられます。我々も微力ながらグローバルな社会の一員としての自覚を持ち、価値ある存在になれるよう努力したいと願っています。

我々は発足当初より「ものづくり企業を中心とした事業活動への支援や産官学の地域活性化活動」に力を入れてきました。当NPO法人は設立から15年が経過し変化の時代を迎えています。また、社会も超高齢化時代を迎え、そのニーズも多様化しています。益々高度化するロボット活用、AI・IoTといった技術進化にも対応すべく内部体質強化も喫緊の課題となっており、今年は次のテーマに取組む所存です。

①本年から5ヶ年計画で会員数の拡大(100名を目指す)。②会員のサービス(新技術への対応・マネジメント)能力アップを図る。このための③技術・サービス力強化を中心とした自己研鑽・OJTによる会員の技術力・コーディネート力を強化するシステムを充実する。これらの施策を地道に実行し、活動の質を高めて取組む事業の拡大を目指します。我々の活動は国・県・市・地域の様々な方々のご支援で成り立っています。

本年も倍旧のご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

Topics.1 苅田商工会議所の支援

苅田町ものづくり企業調査事業及び苅田町自動車産業の動向調査

副会長 藤原 利久理事

苅田町は古くから電力・セメント・金属および自動車産業等が集積し、人口約3.6万人、人口1人当たりの製造出荷額は全国第2位(平成22年度)の港湾・空港・鉄道・高速道路の集積した産業都市である。苅田町・苅田商工会議所とKTSは従来から交流があり親交を深めてきた。

苅田町から地方創生事業として「苅田町ものづくり企業調査」の相談を受け、苅田商工会議所からの受託で本事業を平成28年10月に契約が整い、平成29年2月に調査が完了し、報告書を提出した。調査事業は下記2件でKTSメンバー計16名が担当した。

■苅田町ものづくり企業調査

苅田町のものづくり企業125社(苅田商工会議所会員・その他含む)に対し、業種・生産・業況・納入先・人材・今後の事業展開・課題・要望等について事前説明と本調査で1社当たり2回の訪問により125社中101社から回答を得ると高い回収率(81%)の調査事業を行った。ものづくり企業のデータベース化の完成により今後の企業調査にも活用できる。業種は金属・輸送機械・機械加工で60%を超える。

調査結果では、大・中小企業とも人材不足が非常事態であり、特に中小企業・技術者の確保が喫緊の課題となっていることが分かった。

■苅田町自動車産業の動向調査

最も代表的な自動車産業の動向調査であり、九州からは138万台が出荷されている。(全国17%、日産系48%・トヨタ系25%) 苅田町では自動車産業に取り組む企業が37社(29%)あり、最大の産業である。世界的な環境規制(EV等)、つながる車・自動運転など世界の自動車企業連携など激動の世界を多くのデータにより調査した。産学官の自動車関係者からの情報収集も行い、自動車産業と地域が戦略的協働による技術革新・人材確保、大学・高校との連携等を提案した。(前記16名中3名が担当)

最後になりましたが、苅田町および苅田商工会議所のご協力に心から感謝申し上げます。



出典: 苅田町HP 記載文字: KTS

謹賀新年

平成三十年 正月 理事・監事一同

会長 吉田 剛
事務局長 小林 敏郎
副会長 重藤 将美、藤原 利久、山本 倅暉
理事 石井 剛、石川 浩、江副 綾人、影山 隆雄
林 慶三郎、藤崎 正昭、藤原 成種、松隈 齐
監事 磯村 福義、小野 晃一



【平成29年度 理事・監事一同】



新年の挨拶



平成30年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、ミクニワールドスタジアム北九州やリニューアルした美術館のオープン、大型クルーズ船の寄港や国際定期航空路線の増便などにより多くの方々にご来北いただき、まちの彩りがより豊かになりました。10月には、天皇皇后両陛下に行幸啓いただいたことをはじめ、明るい話題の多い一年でした。

今年も、地域経済の活性化、文化やスポーツの振興などに取り組み、にぎわいと活力に溢れる元気な北九州市を目指してまいります。

まず、暮らしの面では、一人ひとりの子どもに寄り添った支援を充実させ、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指します。また、健康寿命の延伸や生涯活躍の促進、地域包括ケアシステムの構築などに取り組み、「共生のまちづくり」を進めます。さらに、総合的な防災体制を充実強化し、地域での防犯活動の推進などにより、日本トップクラスの安全・安心なまちを目指します。

産業振興の面では、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証や響灘での洋上風力発電拠点化など、ものづくりや環境分野での事業を強力に進めるとともに、中小企業の事業継承や生産性向上への支援を行います。

また、女性や中高年齢者の支援に加え、若者の地元就職などを促進し、第二新卒やセカンドキャリア、外国の高度人材など、多様な今年は、北九州市が誕生して55周年を迎えます。まちのにぎわいを生む記念事業を行い、市民の皆様とお祝いするとともに、「住みよいまち・北九州市」の魅力を国内外に伝えていく一年としてまいります。

新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社安川電機 代表取締役社長 小笠原 浩



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は天皇皇后両陛下の行幸啓を賜り、大変光栄な一年となりました。関係各位のご支援によりつつがなくご視察を賜ることが出来ましたこと、深くお礼申し上げます。今回のご視察を励みに、広く社会の発展、人類の福祉に貢献できるよう、安川電機グループ一丸となって更なる研鑽を重ねてまいり所存です。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、最近では新聞等を通じ、ほぼ毎日のように Industrie4.0、IoT、AIの文字を目にいたします。また、労働力不足の加速を背景に、スマホ・家電・自動車(特にEV)市場等における自動化ニーズが急速に増加しています。

弊社においても昨年10月に新たなソリューションコンセプトとして「i³-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」を大きく打ち出しました。世界で戦える最強のサーボ、ロボットそしてインバータをベースにデジタルデータソリューションを新たに加え、弊社が世の中に初めて提唱した「メカトロニクスの概念」をさらに進化させ、激変する世の中のニーズに応えてまいります。

2018年の干支は「戊戌(つちのえ・いぬ)」でございます。戊戌は大きな変化が起こる年といわれています。安川電機も、未知の領域への行動力と柔軟性を持って、変化へ対応してまいりたいと存じます。

北九州テクノサポートの皆様も多方面からのニーズを捉え、各種支援を通じて北部九州地域の産業発展に貢献されているものと存じます。会員の皆様にとりまして、2018年が飛躍の年になることを心より祈念致します。

■新日鐵住金株式会社八幡製鐵所 所長 佐藤 直樹



新年あけましておめでとうございます。

世界経済は、米国・欧州とも底堅く推移し、新興国についても緩やかな回復が続いております。また、北九州を含む日本経済は個人消費・設備投資ともに底堅く、緩やかな経済回復が継続しております。そのようななか、世界の鉄鋼需要は総じて堅調に推移しており、2018年の鋼材見掛消費は過去最高に迫る16.5億トンになると推定されています。鋼材市況も上昇するなど、鉄鋼業を取り巻く環境は一時期に比べて好転しています。しかしながら、米国の保護主義化、為替動向、エネルギー市況等、今後の動向を左右する変動要素はかつてないほど増加しています。特に、世界の粗鋼生産の約半数を占める中国の鉄鋼生産能力は、鋼材市況の回復とともに再び拡大傾向にあり、需給バランスが再び緩むことが懸念されます。

弊社は「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」の実現に向けて、諸々の構造改革を進めており、弊所では2020年度末を予定している鉄源最適生産体制の完遂に向けて、連続鋳造機の新設を含む中長期を見据えた施策の実行推進に努めているところです。

昨年弊所は、クロム資源の全量リサイクル等を可能にする合金鉄溶解炉による資源循環システムの開発において、資源循環技術・システム表彰の経済産業大臣賞を受賞しましたが、今後もプロセス開発や商品開発に継続して取り組み、お客様から選ばれる製鉄所を目指してまいります。

最後になりますが、今後も地域の皆様信頼される製鉄所であることをお約束するとともに、地域の一員として北九州の発展に尽力していく所存です。北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.30 広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

新春随想



平成30年 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央

新年明けまして、おめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対してご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

さて、FAISは、北九州学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界のコーディネート機関として、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動してきました。

本年も、地域企業の優れた製品・技術の開発や販路開拓への支援、さらにはきめ細かな創業支援など、北九州市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の大きな柱である「北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」ための取り組みを強めていきたいと考えています。FAISは、多くのものづくり企業が存在する北九州地域の産業支援機関として、地域企業と大学との連携を進め、地域企業の活性化や新産業の創出を推進する役割を担っています。特に近年では、地域企業において生産性向上へのニーズが高まっていることから、経営力強化への支援に加え、ロボット・IoT、AIといった新技術の導入支援を推し進めています。また、産業界の未来を見据えた先端技術の拠点化や先進的介護の実証・実装にも取り組んでいるところです。

北九州地域の活性化を産業面から進めるためには、皆様のような豊富な専門知識や技術を有した方々の協力が必要です。皆様には、さらなるお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、北九州テクノサポートの会員の皆様にとりまして、本年がよき年となりますことを心からお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

■(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事 中溝明弘



新年明けましておめでとうございます。

(公財)北九州観光コンベンション協会主催の中小企業テクノフェアin九州には毎年多大なご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

NPO法人北九州テクノサポートのコーディネーターによるビジネスマッチングは、中小企業テクノフェアin九州の中心的企画に成長し、全国の展示会の中でも差別化を図れる内容となっております。また2009年からスタートしましたこのビジネスマッチングも今年で試行を含めると、10回目の年となり、テクノサポートの皆様には、この間中小企業テクノフェアin九州の成長を支えて頂き、重ねて感謝申し上げます。

2018年度は、各金融機関等の経済見通しを見ても内外需の回復を基調に、実質GDP成長率は前年比+10%を超える数値が並んでいます。そのような中でも、中小企業が継続して成長していくためには、時代の変化に対応し、新商品の開発にとどまらず、積極的に新市場の開拓や新たな事業の展開に取り組んでいくことが重要と考えます。その際にその企業の情報発信がいかに効果的に行われるかが事業展開の成否のカギを握っていると考えます。

中小企業テクノフェアin九州においても、展示会の質の向上を図るとともに、企業が求める様々な課題を解決できる技術・商品・サービスをタイムリーに紹介させて頂くことで、企業の継続的成長に寄与できる展示会を提供して参りたいと考えます。

2018年も、企業の皆様に重宝される展示会としての中小企業テクノフェアin九州において、テクノサポートの皆様の引き続きのご支援を賜りたく心よりお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

■(公財)北九州活性化協議会 会長 宇佐美 昇



新年明けましておめでとうございます。

昨年6月に、西村に代わりまして、当協議会第7代会長に就任しました宇佐見です。

北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協議会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。昨年は、世界の政治情勢においては、北朝鮮情勢などの地政学リスクや米国の政策運営の不透明感やエルサレムのイスラエル首都承認など、引き続き海外の政治リスクが大きい状況が続いています。しかしながら、国内外の経済情勢は概ね良好に推移し、日米の株価は過去最高水準にまで達しました。今年の日本経済も2020年東京オリンピックを背景に、個人消費を中心とした内需の拡大傾向が続くとみられています。

こうした流れの中で、当協議会も、北九州地域の産学官民の連携軸として「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、産学連携による産業人材育成と中堅・中小企業の雇用環境の改善に向けその一翼を担っております。本事業の推進に当たっては、創設当初より豊富な専門知識と地元企業とのネットワークを保有されている北九州テクノサポートの大きなお力添えを頂き、お陰様で地方創生戦略のモデル事業としての評価を頂くに至っています。工業都市—北九州の確かな未来を創っていくためには、高い志をもって北九州地域における中小企業の技術力強化に取り組まれている北九州テクノサポートの皆様との産学連携のコーディネーターとして、また中堅企業のサポートとしての役割が今後ますます大きくなっていくと思われれます。今年度も、当協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポート様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.30 広告3-4



限りある資源を未来に地球環境に貢献



株式会社コーセイジャパン

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

この度、福岡県工業技術センター機械電子研究所との共同開発で、CAE(熱流体解析、照明解析)を活用し、最適なヒートシンクとリフレクタの設計、温度と照明特性測定、構造の見直しおよび部品の共通化を図ることで、30%のコストダウンが実現しました。

本開発による事業拡大を目指して、一昨年東京営業所を新設(1名新規雇用)、昨春に本社新社屋(福岡県刈田町)を建設し、新型LED照明の生産および品質管理の強化を図っております。

http://www.kosei-japan.com

(新商品) 低コスト高効率LED照明



意匠登録1537579号
実用新案第3197902号



〒800-0315 福岡県京都郡刈田町港町8-11

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141



すなわち謙虚に無限の未来をひらいていこう

株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にEcoAction21を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小河原 悟
◆本社・工場: 福岡県京都郡刈田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



新春随想

平成30年 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 赤尾 哲之



新年あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの会員の皆さまには、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年、県では内閣府の地方創生拠点整備交付金を活用して、八幡西区の工業技術センター機械電子研究所の改修工事に着工しました。改修後の新たな施設では、CAE(コンピューターによる設計、製造支援)を活用した製品開発支援を行う「CAE支援ラボ」の充実強化のため 機器の集約や測定環境、研修・実習施設が拡充整備されます。新年度から施設の利用が可能となる予定ですので、是非ご活用いただきますようお願いいたします。

わが国の経済は緩やかな回復基調が続いていますが、本県のものづくり中小企業を取り巻く環境は、人材確保の困難、国内市場の縮小、グローバル競争の激化など厳しい状況が続いています。県としましては、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打開できる多様で活力ある自立したものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。新年が皆さまにとってすばらしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 尾家 祐二



新年おめでとうございます。

昨年中は、本学の教育研究活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。特に、北九州テクノサポート殿のネットワークを活かした企業ニーズの把握にご協力頂き、感謝申し上げます。

本学では、昨年も、引き続きキューテックコラボ「三木会」を開催し、地域企業の皆様との交流を継続し、産学連携のきっかけづくりを行いました。多くの方々のご参加を頂き感謝申し上げます。また、昨年1月に学術指導制度の運用を開始し、多くの方にご利用頂いております。これは、本学の教員等が教育、研究及び技術上の専門知識に基づく指導、助言及び講習を行うことにより、企業等の皆様の業務又は活動を支援することを目的としております。是非ともご活用くださいませ。

また、さらなる産学連携及び国際連携を推進しております。平成28年度に共同研究講座(企業の方が本学に常駐されて共同研究を実施する)制度を設け、株式会社SUMCO様とパナソニック株式会社様のご協力を得て、昨年2つの共同研究講座を開設することができました。個の教員レベルだけではなく、大学として、企業様と組織的な持続的で豊かな関係を築いていきたいと考えております。広く、本制度にご興味をお持ち頂いたら幸いです。また、国際共同研究でも組織対組織の連携を強化いたしました。具体的には台湾科技大学及びマレーシアプトラ大学(UPM)との間で、大学間共同研究プロジェクトを開始しました。両大学が共同研究を支援する制度です。台湾科大との間では5件、UPMとの間では3件の共同研究を開始しました。その他、学外の多様な組織との連携を促進する活動を実施しております。

本年も、本学の社会的な価値を高めるとともに、新たな価値の創造を目指した活動を行ってまいります。そして、皆様方とそれらの価値を共有できるように広報及び連携を行います。引き続きご理解並びにご協力のほどよろしくご願ひ申し上げます。最後になりましたが、皆様方にとりまして、本年が多くのよい機会に恵まれ、実り豊かな年になりますことをお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。

北九州市立大学

副学長 梶原 昭博



新年おめでとうございます。

昨年を振り返ると、テロなどのリスクに加えて北朝鮮のミサイル発射や核実験による脅威が世界的に広がり、日本の安全保障環境も大きく変わり始めた1年でした。また国内に目を向けると衆議院総選挙が行われ、安定した政権が続くことになりました。しかし少子高齢化に伴う人口減少や地方の過疎化、巨額の財政赤字、社会インフラの老朽化、崩壊寸前の社会保障など危機的な状況は変わらず、政治はそれらの課題を解決できないでいます。まさに今の日本には、成熟社会の負の現象が全て表れており、思い切った対策を政治に期待しています。

さて少子高齢化に伴う労働人口不足に対しては、AI(人工知能)などのITやロボット技術の利活用が期待されています。しかし、国内のIT人材は不足しており、国が進めている超スマート社会Society5.0を推進するためにもIT人材育成は急務であると考えます。そこで本学では、文部科学省のenPit-Pro事業採択を受け、本年4月から社会人向けのAI・ロボット・IoT(モノのインターネット)などIT技術に関する短期修得プログラムを開設します(<http://www.enpit-everijp>)。ここでは、社会で働く多様な人達に対して体系的な講義、演習、ケーススタディを通して、社会でリードできる実践的人材育成を目指します。

また本学環境技術研究所では、社会保障費の増大と労働人口の減少という課題を解決すべく、昨年9月にバイオメディカル研究センターを先制医療工学研究センターに改組しました。本センターでは、バイオ・化学系と情報系の教員が結集して「治療から予防へ」、そして「スマートなヘルスケアシステムの構築」に向けて研究開発を推進しており、実用化や商品化などの成果も表れつつあります。

以上のように今年も地域社会発展に貢献できる高度産業人材育成と地元産業発展に向けて取り組んで参ります。引き続き、NPO法人北九州テクノサポートの皆様のご協力とご支援を宜しくご願ひ申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.30 広告5-6

気象システムとIoTを駆使したソリューションシステムを提案致します！

高性能・高機能 新波法予測情報提供システム

国土交通省「NETIS」登録商品
【登録番号 GSK-140001】
●「羅針盤」専用の予測解析システムを開発！
1kmメッシュ毎に、最長10先まで予測！
●最大20地点登録、充実した印刷機能！
登録した地点の予測はすぐに閲覧、印刷が可能！

小型波高観測装置

国土交通省「NETIS」登録商品【登録番号 GSK-140001】
●加速度センサー、ジャイロセンサー搭載により
あらゆる動きを検知するブイ波高計！
●観測データはリアルタイムに閲覧可能、
警戒値超えの場合はメール通知！

自然災害防災システム

ZEROSAI
国土交通省「NETIS」登録商品【登録番号 QS-150021】

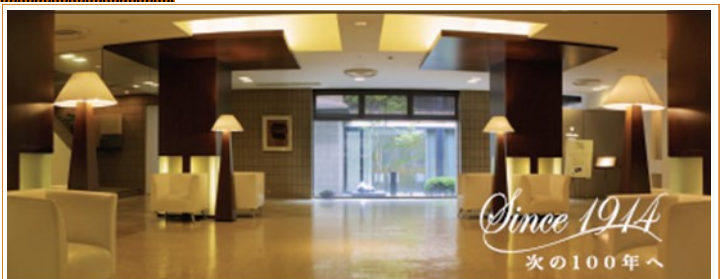
今の情報を 知る「観測」
自社開発の気象観測機器
これからの情報を 知る「予測」
500mメッシュ毎の、ピンポイント予測
全員に伝える「告知」
基準値超えの場合はメール通知、
電光掲示板(音と光)で危険を周知

この3つを踏まえたシステムで、
安全・安心・防災に繋がるソリューションを
ご提案致します！



気象海象観測機器やシステムの設計・開発など、
多様なお客様ニーズにお応えしますので、
何なりとお申し付け下さい！

気象庁予報業務許可 第51号
国土交通省「NETIS」登録商品
北九州市小倉南区権力町2丁目8番11号
TEL(093)965-1033 FAX(093)965-1055
E-mail: info@sysmet.co.jp URL: http://www.sysmet.co.jp



Since 1914
次 100 年 へ
千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡西区西本町1-1-1
TEL.093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

(公財)北九州観光コンベンション協会(以下協会という)のビジネスマッチング(BM)支援は常に協会からご支援を賜り10周年になりました。心から感謝申し上げます。

KTSが誘致した出展企業数は金沢機械展から4社、北九州から1社の計5社を含み今年は合計63社(昨年56社)で、10年前約30社と比べ倍増した。

川下訪問企業数は216社に上り(昨年186社)、過去最高ではあったが、川下企業は超多忙等との理由により来場企業は91社(来場率42%)に止まり大幅低下となった。

面談・商談・見積・成約件数は351件(昨年430件)であった。



展示会場風景



ビジネスマッチング商談風景

過去最高の初出展率 63.9%、九州外出展率 47.5%は出展企業アンケート調査での満足度の厳さを示した。

出展企業では新製品・ハイテク・システム・ロボットなど高度化製品が、また川下企業毎のニーズ調査でも高精度次世代加工・高度化・自動化・新技術・新素材・省力などが多数を占めた。

良かった点はコーディネーターが複数で企業訪問をしたり、技術開発の相談を受けたこと、課題はコーディネーター間のパラツキが大きくなり高度な製品の出展企業への対応力とデータ整理の簡素化である。

来年度は新たな10年のスタートであり、川下企業への丁寧な対応と来場率の向上による地域活性化と協会への貢献と考える。



KTSコーディネーター

■エコアクション21地域事務局福岡の活動状況■ エコアクション21地域事務局福岡事務局長 藤原 成種

エコアクション21については、次のようにいろいろの行事が行われています。

- (1)エコアクション21ガイドライン2017年版の改定が環境省から公布されました。事業者説明会は、H30年1月26日と2月5日の両日にウェルとばたで実施します。
- (2)第11回全国大会が中央事務局主催により福岡市で行われました。350人以上の審査人および地域事務局員(当地域事務局から1名)が参加し活況を呈しました。
- (3)10年以上の長年にわたりエコアクション21に取り組んでこられた全事業者に対し、中央事務局から感謝状と記念品とが贈呈されました。当地域事務局扱い事業者は28社が贈呈対象となりました。
- (4)普及活動の一環として、自治体イニシアティブ・プログラム(北九州市実践講座・福岡県集合コンサルティング)を実施し、10事業者様が参加され、目下環境経営システムづくりに熱心に取り組まれています。
- (5)認証取得事業者に対するフォローアップセミナーを北九州市で主催し、12月8日に福岡県八幡総合庁舎 本館大会議室で実施します。その他福岡市、佐賀県、山口県及び大分県では共催します。相互研修・交流に成果を挙げるのが目的です。
- (6)北九州市長感謝状授与制度は6年目を迎え、今年度は日本鉄塔工業(株)、(株)NRS及び関門エンジニアリング(有)の3社が、「環境にやさしい取り組みを行い成果をあげている事業」として、テクノフェア展会場で感謝状及び記念品とが授与されました。
- (7)認証・登録事業者は全国でおおよそ7,900社となり、当地域事務局福岡では260数社を御世話しています。地球環境保全のためには、中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、炭酸ガス削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となってきています。一社でも多くエコアクション21の認証を取得されますようお願いいたします。



EA21北九州市長感謝状授与式

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

株式会社ニシテイ

Power Resistors
Power Quality Products
Robot Peripherals

新たなステージへ
さらなるステップアップを実現します

株式会社ニシテイ

本社工場 北九州市八幡西区紅梅2丁目1番1号
〒806-0011 電話:093-631-4131(代) FAX:093-641-0763
東京営業所 東京都中央区新富町1-1-15番1号 電話:03-5564-0201
大阪営業所 大阪府中津川町西町4-2-3 電話:06-6284-2619

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.30 広告7-8

公益財団法人 北九州活性化協議会
TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636
<http://www.kjpec.or.jp/jinza/>

KPECの主な活動

<p>もったいない総研</p> <p>真にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!</p>	<p>産業人材育成</p> <p>北九州地域の仲立、中小企業と地元理系大学生をつなげる地域ぐるみの産業人材育成</p>	<p>小学校応援団</p> <p>子どもの教育を、企業も一緒に、積極的に支援し、学び</p>
<p>1000人の夢資金</p> <p>北九州をちとて楽しく、このまちの心豊かな未来を、ご一緒に育てませんか?</p>	<p>北九州イノベーションギャラリー</p> <p>技術とデザインを融合させ、数々のイノベーションを創り出した北九州の先人達の想いの遺産</p>	<p>まちづくり推進事業</p> <p>市民・団体・大学・行政機関等の連携種として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています</p>

Topics.3 地域の更なる活性化につながる実践型(長期)インターンシップが始まる

産学官連携・人材育成支援Gr.長 影山 隆雄

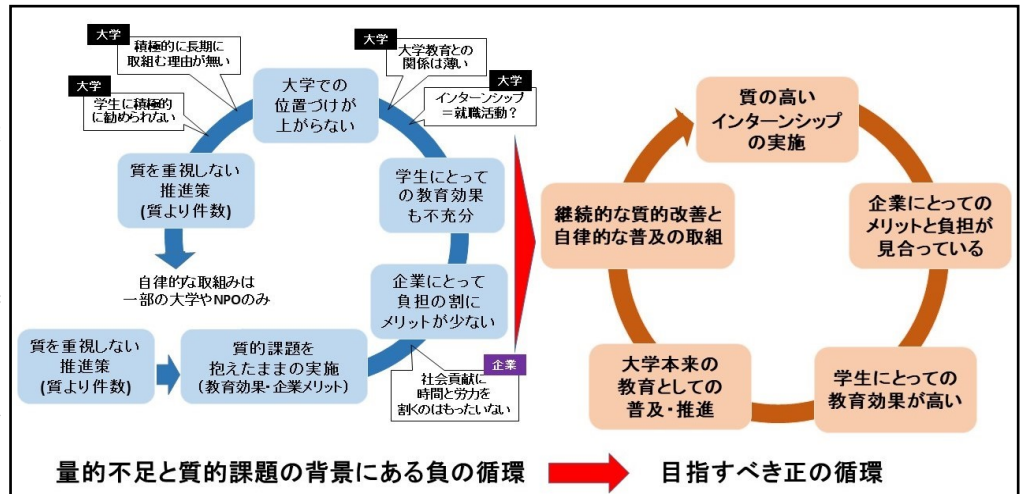
平成29年度から地域の更なる活性化につながる実践型(長期)インターンシップが始まりましたのでご紹介します。

学生の大企業・安定志向の高まりや職業観の醸成不足、そして企業の即戦力志向の高まりを背景に若年者の雇用ミスマッチが社会問題化して日本の中長期的な競争力・生産性を脅かしかねない状況にあり、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、若者の活躍推進に向けたインターンシップの重要性が見直されました。

北九州地域産業人材育成フォーラムは、平成23年度以来、北九州地域の中堅・中小企業と地元理系大学による「地域連携型インターンシップ事業」を地域ぐるみで実施してきました。この事業の目的は、インターンシップを通じて学生の社会人基礎力を育成し、さらに企業の雇用環境の改善を図ることですが、地元企業の認知と理解が進み、インターンシップに参加した学生の地元中小企業への就職率は、全体の2倍を超える成果を挙げています。しかし、これまでの北九州地域の「地域連携型インターンシップ事業」は、実習期間1~2週間の研修型(短期)が殆どでした。先の「日本再興戦略」を受けて経済産業省と文部科学省は、「教育的効果の高い」インターンシップのあり方についての調査・検討を実施した結果、将来の産業界を担う若者の育成という視点で見れば、変化が激しく不確実性の高い社会においては、社会人基礎力やリーダーシップなどの汎用的な能力、加えて、自らのキャリアを自律的に切り拓く能力がますます重要になっていることを指摘しています。一方、大学にはそうした能力を育成する有効なキャリア教育はまだ不足している状況にあります。

北九州地域では、北九州テクノサポートがコーディネーターとして多くの中堅・中小企業の経営者の皆様に以上の課題解決にご理解を頂くことにより、国内の他地域に先駆けて、今年度から教育的効果の高い実施期間3ヵ月~1年の実践型(長期)インターンシップを導入する取組を推進することになりました。

一方、大学において推進していくには、時間割や単位認定などまだまだ課題が沢山ありますので、今年度は九州工業大学だけの参加で開始しましたが、様々な課題を克服し進化していった先に、日本の地方におけるインターンシップの先端モデルが提示されることを願っています。



■KTSの「ものづくり企業」支援実績例 一企業の困りごとの「駆け込み寺」としてご利用ください！

1. 「ものづくり」公的資金の活用と応募支援
2. 「テクノフェア」等ビジネス・マッチング支援
3. 「大学・高専インターンシップ」受入企業開拓
4. 「環境・省エネ支援事業」の推進
5. 「ものづくり企業」等の技術・開発・改善提案

安全で持続可能な社会のための戦略・システム・ソリューションを提供

株式会社 エステック21

工場の環境負荷低減 (エコロジー) や、トータルコストダウン (エコノミー) を提案

Wエコ

軽くて耐久性抜群！
わずか0.1mm
高性能遮熱シート

僅か、0.1mm
95℃のやかんが28℃に!!

油を劣化させない
工業用オイル
高性能濾過装置

オンリーワン、ベストワン製品の普及促進を、技術・事業面から支援します。

〒811-4343 福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX: 093-293-6431 E-mail: info@s-tech21.biz URL: http://www.s-tech21.biz/

未来型コミュニティは、WIN-WINの法則から創造される!

Awin 一般社団法人
A.win Eco環境総合研究所

一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所は、今後の日本における「コンパクトシティ」化に伴う経済社会に対応するための活動を行っています。

- 未来型マーケティング&ビジネスコミュニティの構築
- 未来型ビジネスモデルの構築&起業支援
- 企業及び各種団体のコンサルタント支援&教育支援

お問い合わせは、一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所 事務局まで
〒800-0352 福岡県京都郡苅田町富久町1-22-23 TEL093-435-0558 FAX093-435-0555
会員登録中 入会金:10,000円、会費:一般会員10,000円/月

「A」=ALL(すべて)とWin=(勝利)です。皆様と「Win-Win」の関係になるようお願いを込めた法人名です。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.30 広告9-12

Matsushima

Matsushima Measure Tech

計る×技術で世界に向けて

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL http://www.matsushima-m-tech.com
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー

高品質の金型を世界へ

Uchida Co., Ltd
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 祥嗣

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: http://www.uchidanet.co.jp

ISO9001 by BQI JAB QMS SYSTEM K98

中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

■技術経営ものづくり支援Gr.の活動 Gr.長 吉田 剛

昨年の総会を機に本Gr.のリーダーを前任の石川氏より吉田が引継ぎ活動しています。これまで以上に本会の活動を活性化するため、地域企業の実態を知り、その課題に対応できる人材を補強します。企業支援活動を希望される方々のスキルを把握し事業対応の基盤固めを進めています。

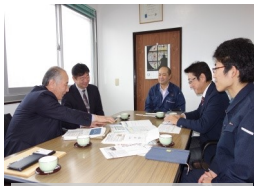
また、プロジェクトマネジメント学会の研究会活動と連携した技術力向上の研修会等を企画すると共に、他の活動と相互連携を強化し、企業支援の機会と成果を高める活動に取り組んでいます。

その他、EA21の活動やインターンシップやテクノフェア支援活動との連携、さらに吉田・太田氏が所属する九工大産学連携コーディネーターとの情報交換を密にして計画を進めています。

■産学官連携人材育成支援Gr.の活動 Gr.長 影山 隆雄

1)「第4次産業革命」勉強会活動：会員だけでなく行政や中小企業の皆様の自己研鑽の場を2015年1月に立ち上げてから2年以上にわたり隔月開催で継続しています。

2)高度産業人材育成支援事業地域連携インターンシップ(IS)事業では、受入対象企業の選定や学生と企業のマッチング等、KTS会員の知見とノウハウが遺憾なく発揮されています。また、今年度から地域の更なる活性化を目指して実践型(長期)インターンシップ仕組みづくりにも参加しています。



実践型ISOフォローアップ会議

■販路開拓ビジネス支援Gr.の活動 Gr.長 藤原 利久

(公財)北九州観光コンベンション協会主催のテクノフェアin九州(10月開催、63社)は早いもので10周年を終えた(Topics 2参照)。その中でKTSの商品販売契約制度を出展企業と実現すべく具体的な検討をしている。特許等のある特殊製品とLED照明のような一般製品で異なる扱いや協会への配慮が必要でありテクノフェア契約期間内は除外する等を検討し、実現を期す。

新たに協会の「製造技術イノベーション展」(6月開催、約50社)のBM支援の要請を受けて受託することで正式に準備を始めた。特長は二つ、一つ目は出展企業が海外企業も含めた高度技術製品の中堅・大企業であること。二つ目は福岡県中小企業振興センター主催による出展企業とは別の地元企業(約50社)の発注希望製品と地元受注希望の商談会があることである。テクノフェアと共に新たな門出にしたい。

■ISO-EA21支援Gr.の活動 副Gr.長 松隈 斉

ISO支援活動は前期から引き続き下記のような活動を行った。

- 1)造園業者に於けるISO9001及び14001内部監査員教育
- 2)空調機器メーカーの幹部及び内部監査員に対するISO:9001;2015年版の説明会(於:福岡、名古屋、東京 受講者:計約80名)
- 3)洗浄装置メーカーのISO9001及びISO14001の認証取得支援コンサルティング(継続中)

EA21支援活動としては、昨年8年ぶりに実施された環境省の「EA21ガイドライン」の改訂に対応するため、昨年11月に行われた審査員研修会に当NPOに所属する審査員全員が出席した。これを受けて今年度はEA21認証取得事業者への説明会や事業者のシステム見直し指導が必要となっている。

■環境・省エネ支援Gr.の活動 Gr.長 山本 倅暉

北九州市は過去には工業的公害の町として知られていたが、現在では模範的な環境都市として多くの外部の人が見学に来ている。ただ、自然環境の山は竹林化し、田畑は猪・猿等に荒らされている。今迄に前記を含めて助成金事業に公募したが残念ながら一次は通過しても駄目だった。その要因を考えた結果、他のNPOや自治会と協働していないこと、現地を見聞して充分理解していないこと等なので今後は課題提案で充分検討して公募していきたい。省エネ関係では、(財)省エネルギーセンターとエコ診断ネットワークジャパン対応業務を遂行。

- ①定期報告書作成時の確認調査業務として、ビル、工場、発電所向けに5件の指定工場定期報告書作成支援業務を担当。
- ②省エネセンター主催の電気関係教育講師を担当した。

■PC活用支援Gr.の活動 Gr.長 松隈 斉

PC活用支援グループとしての活動実績は、まず例年行われている「中小企業テクノフェアin九州」の事業に参画している会員10数人による企業訪問での紹介件数やビジネスマッチングの進捗状況などを集計した。今年度からは現在受託契約が進められている「西日本製造技術イノベーション展」に関しても同様の集計業務を担当するようになることが予測される。

外部へのPC活用支援としては、以前にホームページの構築・立ち上げを支援したNPO北九州市計量士会からの依頼で、今回これの見直し修正を行った。

当KTSには最近ITや3D-CADに詳しい会員も加入されており、このような会員の活動の場を模索中である。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

< 製品、技術、開発、人材などに関するPR ← 募集中 >

NPO-KTS通信Vol.30 広告13-16

微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか？」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。これからも「お客様の喜び＝我々の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みへの けいじ)
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com

ミーム (未夢)

道路トンネル検査点検専用車両

計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231
FAX:093(641)2010
http://www.keisokukensa.co.jp

建造物に美を添える”研磨”という芸術

東洋ステンレス研磨工業株式会社 TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

中小企業テクノフェアin九州2018

http://www.kyushu-tf.com/ 同時開催:エコテクノ2018



- 会期:2018年10月10日(水)~12日(金)
- 会場:西日本総合展示場 新館
- ものづくりの中小企業様の発展を応援する展示会
- NPO北九州テクノサポート様よりビジネスマッチング支援に協力いただいています。

主催: (公財)北九州観光コンベンション協会

〒802-0001北九州市小倉北区浅野3-8-1



(公財)北九州活性化協議会

平成29年12月12日に重藤理事がKPEC事務所を訪問。山崎専務理事にお会いし、今後の北九州地域産業人材育成支援事業等についてお聞きしました。

■公財の沿革と使命

当協議会は、北九州経済4団体(北九州商工会議所、西日本工業倶楽部、北九州青年会議所、北九州青年経営者会議)を母体に、企業や市民の賛同と協力のもと、平成元年4月に財団法人に、平成22年3月には、福岡県移行第1号の公益財団法人として認可されました。



山崎専務理事

以来、産学官民の連携軸として、さまざまな人・組織が主体的に参加する北九州市の活性化のための中間管理機能(DO-TANK)としての役割を果たしてきました。

■今後の展開

今、「まち・ひと・しごと創生戦略」など地方創生が国の大きなテーマとなっていますが、こうした中で、「まちは誰のためにあるのか?」という、「まちづくりの原点」を問うことから始め、市民と企業、そして行政が協働して地域を創っていく「新しい公共の創造」に向かうムーブメントを興して行きたいと考えています。

20年後の北九州市の産業・経済の確かな成長・発展のためには、その基盤である中堅・中小企業の経営力・人材力の強化、雇用環境の改善等が重要な課題です。この課題解決に向けて、KTSのお力添えを頂きながら進めている「産業人材育成フォーラム事業」が、産学官の連携強化による人材育成で地域産業活性化に貢献したことが高く評価され、昨年「第6回地域産業支援プログラム表彰事業」で全国表彰されました。

産業人材育成フォーラム事業では、地元大学の学生のインターンシップ、企業の中核専門技術人材のリカレント教育、早期工学教育の環境づくりなど、地域の課題を解決するための具体的なプログラムを開発し、産学協働による地域システム創りを進めています。

また、KPECが指定管理する北九州イノベーションギャラリーも設立10周年を迎えましたが、工業都市—北九州の環境を生かして、技術立国日本の次代を支える「理工系人材・イノベーターの育成」と共に、「産業技術の伝承」「技術革新の機会創出」等を図って参りたいと思っています。

■KTSへの期待

地域企業と連帯して進める産業人材育成フォーラム事業は、KTSの専門的コーディネートなしでは成立しません。今後、第4次産業革命への対応など、新しいイノベーションステージの創生が必須要件ですが、産学連携のコーディネート、企業のコンサルテーション等のKTSの機能は非常に重要であり、志の高い専門技術者集団であるKTSの役割はさらに大きくなっていくと考えます。

◇(公財)北九州活性化協議会の概要

- 本社:北九州市小倉北区古船場町1-35 TEL:093-541-3122
 - 会長:宇佐見昇 ■設立:昭和63年4月発足 ■従業員数:25名
 - 事業内容:【環境・人材育成・都市格・イノベーション】の四つの方向性を基本軸に行政や他の団体では行いきにくい社会貢献活動を推進する事です。
- URL: <http://www.kpec.or.jp/p>

(公財)北九州観光コンベンション協会

平成29年4月に新たな組織としてスタートした(公財)北九州観光コンベンション協会へ11月30日に藤原理事が訪問し、中溝専務理事より今後の長期支援戦略等をお聞きしました。(写真は初代理事長の利島様です)

■公財の沿革と使命

当協会は、昭和51年3月に設立の見本市協会を母体に内外の工業製品等の展示紹介及び、コンベンションの誘致、支援等を通じて北九州地域経済の健全な発展に寄与する(公財)西日本産業貿易コンベンション協会と昭和43年4月に北九州市における観光事業の振興及び文化の発展と社会公共の福祉増進に寄与を目的として設立された(公社)北九州市観光協会が、合併しオール北九州でMICEや観光事業を包括的に強力に推進する使命を担っております。



利島理事長

■今後の展開

組織統合により、幅広い視点に立ったMICEや観光振興を構築することができますので、北九州市の魅力ある数多くの観光素材を使い、誘致活動の様々な場面で多彩な情報発信を行ってまいります。特に①MICEの誘致・開催、②コンベンション施設の管理・運営、③観光の奨励と需要を拡大する三位一体の事業展開により、北九州をより一層面白くする組織としてマネジメントしたいと思っております。加えて当協会が主催する展示会やイベントについては、統合した両協会の特徴を生かした分野のほかに、北九州の基幹産業である製造業や福祉などの、ビジネス取引の創出や拡大を目指した事業展開を考えています。また、主催展示会の海外連携促進のため、平成27年10月には韓国釜山コンベンションセンター(BEXCO)とMOUを締結しています。さらに国が進める地方創生を見据えて、産学官民のネットワークを生かした地域密着型事業も実施してまいります。



西日本総合展示場

注:MICE: MICEとは、Meeting(会議・

研修・セミナー)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、Convention またはConference(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一つの形態

注:MOU: Memorandum of Understanding(基本合意書)

■KTSへの期待

展示会は、出展社と来場者の出会いの場であり、そこで新たなビジネスが展開されることで、地域産業経済への波及効果が高まります。その中で、KTSの皆様には、展示会を通じた北九州の発展にお力をお貸し頂きたく、今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

◇(公財)北九州観光コンベンション協会の概要

- 本社:北九州市小倉北区浅野3-8-1 TEL:093-511-6800
 - 理事長:利島康司 ■設立:平成29年4月1日 ■従業員数:68名
 - 事業内容: ①地域産業の高度化と振興及び地域の活性化と文化を向上させる事業
②観光の奨励と需要を拡大させる事業
- URL: <http://hello-kitakyushu.or.jp/>

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
- (個人)入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■プラスα:「中小企業における新製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「助成金・補助金」例えば、「ものづくり補助金」等を利用してみませんか?)
…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まるからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います?その時は、当NPO法人にご相談下さい。

⇒当NPO法人は、会員70名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。



《詳細情報は下記ホームページから》

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信Vol.30」

平成30年1月15日 印刷発行

●発行・編集:NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室
TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org